

避難場所・避難のタイミングについて学ぼう!

大雨の時には、どこに逃げたらいいの?

学校や公民館など、市が開設する避難所に逃げるのだ。



ぼくが通っている小学校が避難所になるってことだね。

そのとおり。
詳しくはP.52~55の
指定緊急避難場所一覧表を確認してごらん。

施設・場所名	適用性	
	洪水	土砂災害
□□小学校	○	○
□□中学校	△	×
□□地区公民館	×	○
□□公園	○	×

指定緊急避難場所一覧表(P.52~55)

○△×
一覧表の「○」「△」「×」は一体何を表しているの?

↓記号の意味は次のとおりなのだ。

- ：洪水や土砂災害の時に安全に利用できる避難所(水平避難)
- △：浸水の可能性はあるが、建物の上階への移動によって安全を確保できる避難所(垂直避難)
- ×：洪水や土砂災害の危険が考えられる避難所

へえー。災害の状況によって、避難所を選ばなきゃならないってことなんだね。

あらかじめ近くの避難所の特徴を確認しておき、災害発生時には状況に応じて行動することが肝心のだよ。

状況に応じた避難行動



- 洪水が予測される場合は、早めに洪水浸水想定区域の外側の避難所等に避難(水平避難)しましょう。



- 洪水が予測される場合は、避難所の上階へ避難(垂直避難)し安全を確保しましょう。
- 避難所への避難が危険な場合は、近隣の高い建物や、今いる建物の上階に避難(垂直避難)しましょう。

防災情報はいろいろあるけど、いつ避難すればいいの?

5段階の警戒レベルに応じて、早めに避難することが重要なのだ。

5段階の警戒レベル(令和3年5月20日から)

警戒レベル	鳥取市が発令する情報	気象庁が発表する情報	状況	住民が取るべき行動
5	緊急安全確保	大雨特別警報	災害が発生または切迫	命の危険、直ちに安全確保!
警戒レベル4までに全員避難!				
4	避難指示	土砂災害警戒情報 氾濫危険情報	災害発生のおそれが高い	危険な場所から全員避難
3	高齢者等避難	大雨警報 洪水警報	災害発生のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難
2	—	大雨注意報 洪水注意報	気象状況悪化	避難場所や経路を確認
1	—	早期注意情報 (警報級の可能性)	今後気象状況悪化のおそれ	最新情報を入力し災害に備える

※避難情報の発令前でも、身の危険を感じたら自主的に避難行動を開始しましょう。

鳥取市が発令する避難情報(令和3年5月20日から)

避難情報は、災害状況に応じて市が発令します。その情報を見聞きしたら、危険な場所にいる場合は、あわてず落ち着いて避難しましょう。

<p>高齢者等避難</p> <ul style="list-style-type: none"> ●避難に支援が必要な方や、その支援者は危険な場所から避難しましょう。 ●高齢者以外の人も必要に応じ、自主的に避難しましょう。 <p>警戒レベル 3</p>	<p>避難指示</p> <ul style="list-style-type: none"> ●避難勧告は廃止されました。 ●危険な場所から全員避難しましょう。 <p>警戒レベル 4</p>	<p>緊急安全確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ●災害が発生または切迫し、命が危険です。 ●危険な区域から避難できていない方は、山や窓から離れたり、高い場所へ移動するなど、少しでも安全が確保できるよう命を守る行動をしてください。 <p>警戒レベル 5</p>
---	--	---